

## 第4回しもすわ男女共同参画推進委員会会議録

日 時 平成20年11月20日（木）午後7時  
場 所 下諏訪町役場 第2会議室（2階）

配布物 ・ 次第

司会進行：米山副委員長

### 1 開 会（森田副委員長）

### 2 あいさつ（滝脇委員長）

とても寒くなり日も短くなる中、お集まりいただき感謝申し上げます。先日町長選挙があった。今後4年間を決める大きな決断の時だったと思う。青木町長は、男女共同参画について大きな柱の一つであると言っている。皆さんは町の方針の一端を背負っている立場と考えてほしい。あまり重く考えることはないが、数少ない回数の勉強する場を大切に、結論的にすぐには見えてこない部分があるが、自分の考える共同参画というものを持っていてほしいと思う。

### 3 議 題

#### （1） 区における推進委員の位置づけについて

事務局：前回の北班の話の中で、推進委員会の位置づけが区ごとバラバラであり、事務局から区長さん方へ呼びかけてほしいという要望をいただいた。事務局でも検討し、先日の男女共同参画審議会を行った中でも、審議会の委員さん方に相談をした。昔から毎年この話は出ていて、ここら辺で何とかしなければいけないと思っているところ。

そこで、町長へ意見書を提出してはどうかと、審議会の委員さんたちから提案があった。それを基に、町から区長さんへお願いをすればと思う。それには、推進委員会の委員さん方が、具体的に区会の中のどういった位置づけにしてほしいのかを、今日ここで話し合っていたきたいと思う。10区のように、分館の役員として推進委員の2人は位置づけられていて、区の分館やその他の行事にも参加、協力をし、男女共同参画の講演会等も年間の行事に入れてもらっているという例もあるし、本当に区の名簿にだけ名前が載っていればいいという意見もあるかもしれない。推進委員会の目的は地域での啓発もあるので、具体的に活動をするには、分館の役員などに位置づけていただくとやりやすいのではないかなと思う。皆さんのご意見をお願いしたい。

3区：区の分館の役員にはなっているが、区の行事等にはまったく参加していない。

10区：最初は分館の行事に出てもらわないと困ると言われ、かなり負担であったが、実際に男女共同参画の講演会を区で行うとなると、顔を知ってもらっている分、頼みやすく、やはり分館の中に入っていなければならないと感じた。

4区：各種団体の長という位置づけになっている。区へ頼めば分館の中にも入れると思う。各種団体の長は、年に4回くらいの区の集まりに顔を出している。

6区：区長は一年ごと代わってしまい、投げかけのタイミングが大事なのではないかと。年初めの区長が交代になった頃に言うのがいいと思う。

9区：推進委員から区長たちへ投げかけるのは難しい。区のばらつきは問題であると思う。

1区：分館の中には、各種団体が入っている。各行事については、各団体で準備等しているが、広報を出したり参加の呼びかけは、分館で協力してくれる。男女の講演会をやることはこのやり方に習えば可能だと思う。

10区：先日の区の文化祭、講演会に参加したが、文化祭では目立つ場所に男女共同参画のパネルを展示し資料を配っていたが、行った人に聞いてみると、気づかなかったと言う。講演会では、参加者が町の役員、町内会長等ばかりで、一般の人にはまだ浸透していないと感じた。

司会：区の役員の体制もそれぞれであるため、ここで結論を出すのは難しいが、また正副委員長でも話して決めたいと思う。

## (2)「男女共同参画セミナー」の報告について

司会：先日11月13日(木)に、塩尻市において、男女共同参画セミナーが開催された。テーマが「地域で行う男女共同参画」ということだったので、皆さんに呼びかけたところ、推進委員4人の方に行っていただけた。

次のマニュアル作成の参考にもなると思うので、4人の方から一言ずつ感想を言っていたきたいと思う。

- ・自分の勉強のために行ってきた。研究協議があったが、そこで出たのは人として思いやりの気持ちを持つことが大切ではないかということ。

- ・上田市の事例発表があったが、簡単な紙芝居と寸劇をやってくれた。とても分かりやすい内容で短くまとめられていて、参考になった。研究協議では、言いつばなし、聞きつばなしではなく、いかに活かしていくかが大事であるという言葉が印象に残った。

・推進委員として2年目になるが、これと言って、今まで特に活動もしてこなかったのに、この機会に参加してみようと思った。実際に行ってみて、自分の意識も少し変わることができたので良かったと思う。上田市の事例発表を聞いて、地域の各種団体と協力し、上田共同参画ネット（U ネット）を立ち上げ、様々な活動を行っており、大変素晴らしいと思った。

・午前中は、県女性相談センターの三沢所長さんから、かけこみ寺の実態の話をお聴きした。相談センターでは、基本的に2週間しか滞在できないことになっているが、長い人では3ヶ月くらいいる人もいます。それぞれ自立して生活できるように送り出すところまで、見守っている。午後は上田市の事例発表と研究協議を行った。上田市の「女と男うえだ市民の会」という推進委員会で活動を行っているが、当初は市で活動のための予算もついていたが、現在は市からの予算もなく会員から1,000円の年会費をもらって活動している。研究討議では12グループに分かれて行ったが、それぞれの市町村の実態を聞いてみると、下諏訪町の推進状況は真ん中くらいではないかと感じた。

### （3）男女共同参画マニュアル作成について

<北班、南班に分かれて、前回の続きを話し合う。>

### （4）その他

司会：次回の推進委員会は、2月頃を予定している。2年目の方たちはこれで最後の推進委員会となる。どなたか講師を招いて講演会を行うか、それとも皆さんの作ったマニュアルの発表会を行うか、またその他に何かご希望があれば出していただきたいと思うが、いかがか。

意見が特に出ないため、正副委員長、正副班長会で決める。

## 4 閉 会（森田副委員長）

終了後、正副委員長、正副班長会

次回の推進委員会は、今年度最後となる。

2月19日（木）19時～ 第2会議室の予定。

内容は、北班、南班でそれぞれ出来上がったマニュアルの発表会を行う。

21時20分 終了